



岐阜盲学校キャラクター「あいぼんだ」

アイアイ通信

NO. 3

見え方の相談支援センター アイアイ教室 令和5年11月10日
(岐阜盲学校内)

暦の上では冬になり、ひだまりが恋しい季節になりました。みなさま、お元気でお過ごしでしょうか。

アイアイ教室は、2学期から新しいお友達が増えて、ワイワイとにぎやかに活動しています。盲学校では、11月3日に文化祭が開催され、各学部や部活動などがステージ発表をしました。アイアイ教室のお友達も遊びに来てくれました。

今回のアイアイ通信では、9月から10月の活動の様子を紹介します。

～アイアイ教室の様子～



音楽に合わせて揺らす「ゆらんこ」や鈴の付いたゴムひもをみんなで持って、上や後ろに引っ張る「ひもすず」。体の揺れの心地よさを味わったり、いろいろな体の動きを感じたりする活動です。だんだん自分からやりたい気持ちを表現してくれるようになります。

‘何となく見える’から、‘意識的に見る’ことができるように、はっきりした色の絵本を用意したり、色や形を見分ける教材を取り入れたりしています。



点字学習の導入として、左右の手の協応動作ができるような教材に取り組んでいます。

左手で、穴の向きや大きさ、位置などを確かめながら右手でコインを入れていきます。

～「見え方の相談支援センター」から～

今回は、『視覚障害乳幼児の子育てハンドブック』から、‘視覚に障がいのある子どもたちの育ちにとって、家庭ではどのようなことを行ったらよいのか’という質問に対する答えを抜粋して、お伝えします。

◆日常生活全般を通して、子ども達ができることは時間や手間をかけてでも子ども達にやらせてください。本当に時間のかかることが多いのですが、自分のやりたいと思っただけができるような体や手指の動きを育てていくことが大切です。一日の中で、だいたいの時間を決めて食事や着替え、排泄や入浴などの生活動作は一緒に動作を伝えながら、一人でできるようになるまで根気強く。生活リズムの中で見通しを持って取り組めてこそ、次の遊びや活動の広がりにつながります。

出所：『視覚障害乳幼児の子育てハンドブック』20頁（編著：杉山利恵子・森栄子・元千葉県立千葉盲学校教諭）

さて、そうは言っても、時間も手間もかけたいけどなかなかそうはいかないのが現実・・・どうしたらいいの？ という声も聞こえてきそうです。アイアイ教室は、家庭での過ごし方や子どもへの接し方など、保護者の困りごとについて一緒に考えていく場でもあります。また、保護者同士で話をして、各家庭で工夫されていることなどを情報交換できる場でもありたいと考えています。今後のアイアイ教室の開催日は以下のとおりです。スタッフ一同お待ちしております。

～今後のアイアイ教室～ 冬休み期間中（12月25日～1月8日）はアイアイ教室もお休みです。

12月の予定



水曜日・・・6日、13日、20日

木曜日・・・7日、14日、21日

1月の予定



水曜日・・・10日、17日、24日、
31日

木曜日・・・11日、18日、25日

2月の予定



水曜日・・・7日、14日、21日、28日

木曜日・・・1日、8日、22日、29日

3月の予定



水曜日・・・6日、13日

木曜日・・・14日、21日

※予定は変更になることがありますので、ホームページや電話等でご確認ください。

問い合わせ先：058-262-1271

見え方の相談支援センター(アイアイ教室)

担当：岐阜盲学校内 山田、高橋